

鳥取県立厚生病院経営強化プラン骨子 (令和5年度～令和9年度)

理念：思いやりと優しさ、真心のこもった信頼される病院
優れた医療を提供し、地域と密着した病院
職員の和を尊び、働きがいのある病院

1. 中部医療圏における当院の機能と役割

- 高度急性期・急性期医療を担う中部医療圏の中核病院としての医療を提供（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、救急・災害、周産期、小児＋新興感染症）
- メディカルスタッフを充実させ専門性を高めるとともに、訪問活動等を通じ地域の医療機関との紹介診療比率を向上させ、入院に重点を置いた医療提供を目指し、圏域の医療連携に貢献
- 計画的に各種経営目標を管理、共有するなど職員の経営意識を高める環境を整備し、健全経営を確保
- 新病院も含めた病院施設全体の整備のあり方を地域関係者も交え検討するとともに、必要性等を吟味しながら高度医療機器の整備を進める
- 地域包括ケアシステムも踏まえ医療圏域内の役割分担・連携機能強化を促進（認定看護師による訪問看護師への指導・訪問看護師養成講習の施設実習受入等）

2. 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

- 病棟の専用化、感染防護等に関する訓練の実施及び新興感染症対応マニュアルの改訂等により、重症の新興感染症への入院医療を提供
- 圏域内の医療機関との連携、助言や保健所等の関係機関との情報交換を行い、医療圏内全域レベルでの感染症対応力の向上・連携強化に貢献

3. 医療人材の確保・育成

- 魅力ある職場づくりとその情報発信に努め、必要人材の確保を図る
- 職員の研修体制の整備、医師の臨床研修、看護学生の実習の受入等を通じ、地域医療に携わる医療人材の獲得・育成
- 労務時間の正確な管理、院内保育の充実・夜間専従看護師の取組等を通じ、ワークライフバランスを重視した職場づくり

4. 医師の働き方改革への対応

- ITの活用やタスクシフト推進により、医療体制の確保と業務効率化を両立
- 医師労働時間短縮計画及び医療従事者負担軽減・処遇改善計画に基づき、医師の働き方改革に取り組むとともに医療従事者全体の負担軽減を図る

5. デジタル化への対応

- 電子カルテ等各種情報システムのデータ分析・活用等医療DXを推進し医療の質の向上及び経営の効率化
- 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(厚生労働省)を踏まえ、必要なシステム改修を行うなど情報セキュリティ対策の徹底

6. 施設・整備の適正管理、ライフサイクルコストの削減

- 新病院も含めた整備のあり方の検討を踏まえたうえで適切に投資を行うことを基本とし、適宜必要な修繕を行って施設・設備の長寿命化を図る